

(所感)

長崎県・上海市友好交流関係樹立 20 周年記念訪問団に参加して

長崎市議会議員 深 堀 義 昭

長崎県・上海市友好交流関係樹立20周年記念訪問団に、長崎市議会から奥村議員と一緒に参加しましたので報告いたします。

私どもは、長崎県知事団という構成の中で、長崎県、長崎県商工会、長崎華僑関係者及び報道関係の皆様方とともに、11月14日から11月16日まで、長崎県・上海市友好交流関係樹立20周年記念訪問団として交流を行ってまいりました。

11月14日には、上海総領事公邸ホールにおける俞彭年氏叙勲伝達式への参加、上海市政府要人表敬訪問、上海市政府主催の懇親会に出席をいたしました。

翌15日には、中国東方航空本社を訪問、また、上海市長を表敬訪問いたしました。この中で上海―長崎線について、1979年9月に東京、大阪に次ぎ日本で3番目の路線として開設され、現在、週2便運航をされている状況であります。長崎からの友好訪問団の派遣や観光客等の訪問を積極的にお願ひし、同航空路線の利用者数の増を図ってほしいとの強い要望を受けたところでもあります。

同日の午後からは、長崎と上海の集い、長崎県産品商談会、長崎県魅力発信フォーラムへの出席、また、夜には長崎県主催の晩餐会である「長崎県の夕べ」に出席をいたしまして、地元の関係者の皆様方との友情を深めてまいりました。

訪問団に参加しての総体的な感想といたしましては、長崎県は、上海市との交流のための努力を一生懸命に行っており、梅屋庄吉をはじめとした長崎県にゆかりのある皆様方との交流等は十分になされているとは思いますが、一方、長崎市としては余り友好的な関係は深められていないような感触を持っております。今後、長崎市の反映のためにも、数多くの皆様方が上海との交流を深められますよう希望をいたします。

最後に、片山在上海日本国総領事におかれましては、大変お骨折りをいただきながら、長崎県、長崎市のためにご尽力をいただきましたことに心から敬意を表しまして、私の報告といたします。